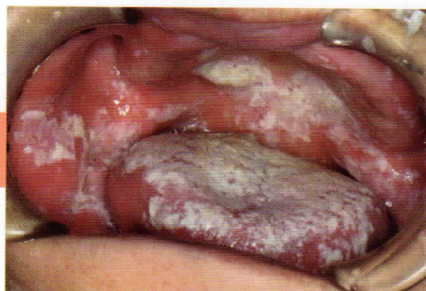


症 例

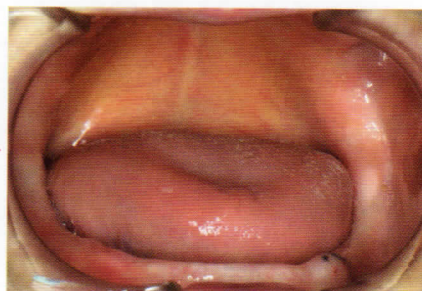
下記症例は臨床症例の一部を紹介したもので、すべての症例が写真と同様の経過を示すものではありません。
注) 要介護高齢者、特に痴呆がある患者では介護者の負担が増えるため、基本的に1日2回投与としている。

舌から口蓋全体に白苔が認められた急性偽膜性カンジダ症(92 歳、女性、高度痴呆あり)

投与前



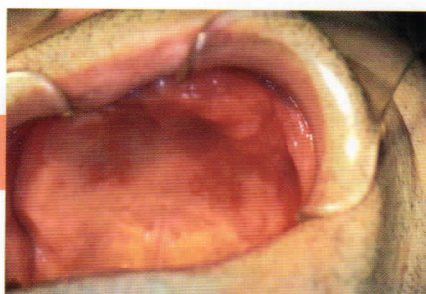
投与後



フロリドゲル経口用 2% 5g を 1 日 2 回塗布したところ、2 週間で軽快した。

義歯の管理不良による慢性萎縮性(紅斑性)カンジダ症(65 歳、アルツハイマー病患者)

投与前



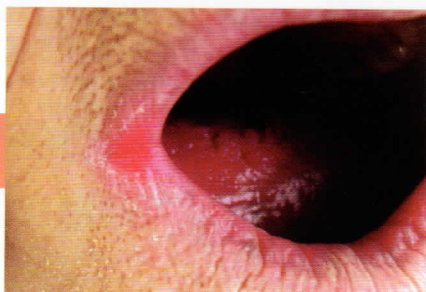
投与後



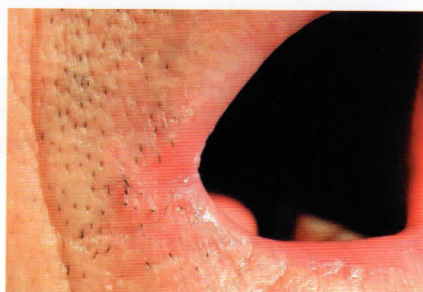
フロリドゲル経口用 2% 5g を 1 日 2 回塗布したところ、2 週間で軽快し、義歯の不具合感も解消した。

口腔カンジダ症に伴って発症した口角炎(87 歳、男性、老人性痴呆あり)

投与前



投与後



フロリドゲル経口用 2% 5g を 1 日 2 回塗布したところ、2 週間で軽快した。

大生病院歯科口腔外科 阪口 英夫 Mebio 21 (8), 126~130 (2004)

本剤の用法及び用量は通常、成人にはミコナゾールとして1日200~400mg(ミコナゾールゲル10~20g)を4回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内にまんべんなく塗布する。なお、病巣が広範囲に存在する場合には、口腔内にできるだけ長く含んだ後、嚥下する。

副作用及び発現頻度

国内における副作用発現状況

	承認時迄の調査	使用成績調査 H.5.1.19~H10.10.30	計
調査症例数	157 例	2,750 例	2,907 例
副作用発現症例数	11 例	68 例	79 例
副作用発現件数	11 件	88 件	99 件
副作用発現症例率	7.0%	2.5%	2.7%

総症例 2,907 例中、79 例 (2.7%) に副作用が認められた。その主なものは嘔気・嘔吐(0.9%)、口腔内疼痛(0.3%)、AST (GOT)・ALT (GPT) の上昇等の肝機能異常 (0.3%) 等であった。なお、小児(15 歳未満)における副作用発現率は 1.3%(3/223 例)であった。
 (再審査終了時)

禁忌を含む使用上の注意等については裏面の DI をご参照ください。